

## 市立札幌病院のビジョン

- 1 地域医療支援病院として、患者さんや医療機関に信頼される地域完結型医療の提供により北海道・札幌を支える「基幹病院」
- 2 高度急性期を中心とした医療、政策医療、集学的医療などを提供する「多機能病院」
- 3 将来さらに質の高い医療を提供すべく信頼される人材を育成する「発展する病院」
- 4 2025年に向けた医療・介護機能の再編に対応した健全な運営を行う「自立した病院」

## 【ビジョン実現に向けた基本的考え方（4つの視点）】

## 1 患者さんや医療機関の視点

患者さんに対しては、根拠に基づいた医療を提供し、わかりやすく、丁寧な説明を行う。

医療機関に対しては、「顔の見える地域連携」を目指し、談話会の充実や積極的に医師が関与する訪問活動などを行い、安心して紹介・逆紹介できる関係を構築するとともに、医療機関からの診療依頼は断らないことを基本とする。

## 2 業務プロセスの視点

全科で救急車は断らないことを基本とし、医師と医療スタッフ、救命救急センターと一般病棟の連携と信頼のもと、受け入れ体制を整備する。また、難易度の高い手術に取り組み、高度な医療技術を提供して、DPC病院Ⅱ群（大学病院本院に準じた機能を有する病院）を目指す。

病院の経営目標を各診療科や各医療スタッフ部門に展開し、各部門はその達成を目指して様々な取組みを行う。

また、クリニカルパスの見直しなどにより、医療の質の向上と効率化を図り、チーム医療を推進する。

## 3 人材育成の視点

臨床研修病院として、研修内容の充実や組織的な研修体制を構築し、優れた人材を育成する。

また、医師、看護師等の医療従事者の専門性を高めるため、研修、研究機能の充実を図る。

さらに、医療従事者の負担を軽減して、診療に専念できる体制を整えるなど、病院で働く職員にとって、やりがいがあり、働きやすい職場づくりに努める。

## 4 財務の視点

良質で高度な医療を将来にわたり安定的に提供できるよう、黒字経営を基本とする。病院経営が健全であれば、医師や看護師、医療スタッフを確保し、最新の医療機器や設備も更新でき、結果的に、患者も増えるという良い循環となる。

DPC制度のもと、平均在院日数の短縮を図らなければならないことから、延入院患者数にかえて新入院患者数を増やすことで経営基盤を強化していく。

## 運営方針

- ① 患者さんの人格を尊重し、患者さんに信頼される医療を行います。
- ② 地域医療支援病院として、地域医療の充実・発展に貢献します。
- ③ 高度急性期・急性期医療を担い、安全で質の高い医療を提供します。
- ④ 自治体病院として他の医療機関では対応が困難な政策医療を提供します。
- ⑤ 医療技術の向上を図り、優れた医療従事者を育成します。
- ⑥ 全職員が連携し、信頼しあう、明るく誇りの持てる「チーム市立札幌病院」をつくります。
- ⑦ 公営企業として健全な財政運営を図ります。

新たな中期経営計画（平成 27～30 年度）における検討課題

課 題	観点・方向性
<b>ビジョン1 「基幹病院」</b>	
地域の医療機関との機能分化・連携推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介患者等の受入体制や仕組みの整備</li> <li>・入退院に関する業務の集約・一元化</li> <li>・治療の標準化</li> </ul>
救急患者の受入体制の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急患者の受入数の増（新入院患者の確保）</li> </ul>
患者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間緩和のための仕組み整備</li> </ul>
<b>ビジョン2 「多機能病院」</b>	
手術実施体制の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難易度の高い手術の取組、高度な医療技術の提供</li> <li>・手術件数や手術室稼働率の向上</li> </ul>
病床機能の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床運営の在り方や病床配置等の検討</li> </ul>
リハビリテーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリの早期介入、休日実施</li> </ul>
医療の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム医療の推進</li> <li>・医療の標準化と質の保証・向上</li> </ul>
<b>ビジョン3 「発展する病院」</b>	
人材の確保・研修医の確保と育成・職員の専門性の向上・働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修プログラム等の充実</li> <li>・補助者等の導入による業務分担</li> </ul>
<b>ビジョン4 「自立した病院」</b>	
新入院患者の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介患者等の受入体制や仕組みの整備（再掲）</li> <li>・救急患者の受入数の増（再掲）</li> </ul>
平均在院日数の短縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院に関する業務の集約・一元化（再掲）</li> <li>・治療の標準化（再掲）</li> </ul>
業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床運営の在り方や病床配置等の検討（再掲）</li> <li>・治療の標準化（再掲）</li> </ul>
ジェネリック医薬品への移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費の負担軽減</li> <li>・薬品費の節減</li> <li>・置換え率の向上</li> </ul>
医療機器の計画的な更新・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高額な医療機器に係る投資の平準化</li> </ul>
施設の計画的な改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院機能や執務環境の充実</li> </ul>